

有限会社鳥取県農協印刷



事例 空調設備の更新でエネルギー使用量を大幅に削減！
社員も快適に働くことができて一石二鳥！！

- 所在地:倉吉市西倉吉町22-6
- 代表取締役:香川正行
- 事業概要:印刷全般
(印刷/製本/加工一式)



Q. 省エネ診断を受けたきっかけは。

A.工場で働く従業員から「暑さが厳しい」との声が上がったことがきっかけでした。空調が老朽化していたため夏場は作業環境が悪化。更新を検討していたものの費用面で踏み出せずにいましたが、補助金活用の可能性を知り、より効果的な取り組みとするため、専門家による省エネ診断を受けました。診断結果は明確で、効果と負担軽減の見通しが立ち、改修への後押しとなりました。

Q. 省エネ診断を受け、どのような省エネ改修に取り組みましたか。

A.診断結果を踏まえ、老朽化していた空調設備の更新に踏み切りました。夏場は温度ムラが生じ、作業環境の改善が課題となっていました。県の補助金を活用しながら、天井吊形空調機4台を新たに導入したことで、作業エリアごとに適切な温度管理ができる体制へと見直すことができました。



▲更新した空調設備



鳥取県・企業の脱炭素経営促進事業／県内企業の取り組み事例

トットリグリーン！

支援制度やその他の事例は
ホームページをご確認ください



Q. どのような成果が見込めそうですか。

A.空調設備の更新により、年間エネルギー使用量は約51%削減見込みとなりました。年間光熱費は約15万円削減、CO₂排出量も年間約3.4トン削減できる見通しです。補助金を活用し自己負担を抑え、環境負荷低減とコスト削減を両立する取り組みです。

Q. 脱炭素経営・省エネ改修を検討する企業へのメッセージを。

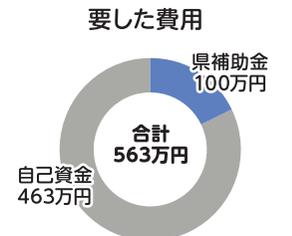
A.省エネ診断を受けることで、自社のどこに無駄があり、どこを改善すれば効果が出るのかが明確になります。初期投資に不安を感じる企業も多いと思いますが、補助金制度を活用すれば負担を大きく抑えることができ、長期的には経営メリットが生まれます。



▲香川取締役

改修による省エネ効果

	年間の電気使用量	年間の電気代
改修前(実績)	11,061kWh	30万円
改修後(推計)	5,428kWh	15万円
省エネ効果	5,633kWh↓	15万円↓
	51%↓	



活用した補助金・支援制度:鳥取県 再エネ100宣言REAction推進事業補助金、資源エネルギー庁 省エネルギー診断拡充事業

